

ひろし新聞 161号

令和2年12月8日

発行者：県議会議員 中川ひろし



埼玉県 コロナ医療対策

『発熱外来』を行う県内病院を公表

コロナやインフルエンザかも知れない患者の為の『発熱外来』を行う県内の医療機関が、12月1日現在1043になり、『病院名・受付可能時間』が1日に公表され、患者が医療機関に電話で受診予約しやすくなりました。この新聞では、県庁からの発表や報道されていない事を含めてお伝えします。

狭山市内で公表された『発熱外来』

病院名	住所	電話番号	診療対象患者	小児対応
遠藤医院	狭山市狭山21-44	04-2952-2296	初診でも可	有
医療法人 安斎医院	狭山市入間川3-3-5	04-2952-2026	初診でも可	有
医療法人社団辰樹会 馬島医院	狭山市青柳149-8	04-2954-7364	かかりつけ患者のみ	無
医療法人尚寿会 大生病院	狭山市水野600番地	04-2957-1141	かかりつけ患者のみ	無
広沢内科クリニック	狭山市水野550-1	04-2950-5882	かかりつけ患者のみ	無
森田クリニック	狭山市狭山台1-8-1	04-2959-3111	初診でも可	有
医療法人社団清心会 至聖病院	狭山市下奥富1221	04-2952-1000	初診でも可	無
さやま総合クリニック	狭山市入間川4-15-25	04-2953-9995	初診でも可	無
新狭山セントラルクリニック	狭山市新狭山2-2-1	04-2900-2222	初診でも可	有
医療法人 すず木こどもクリニック	狭山市広瀬台1-28-18	04-2954-7888	初診でも可	有
医療法人社団グロリア会 前田病院	狭山市広瀬東3-14-3	04-2953-5522	かかりつけ患者のみ	無
あずまりウマチ・内科クリニック	狭山市入間川1-3-2 スカイテラス3F	04-2900-1155	かかりつけ患者のみ	無
医療法人尚寿会 大生水野クリニック	狭山市水野49番地19	04-2957-0501	かかりつけ患者のみ	有

発熱外来は今後増える可能性があり、狭山市内には発熱患者の診察受付時間を探している病院もあるとの事で、県HPをご覧頂くか、予約の電話の際、ご確認下さい（すず木こどもクリニックは、ネットでの予約です）。

『かかりつけ医』とは、「最近受診していなくても、今までに診察に行った事がある」という意味です。公表された発熱外来は、県内の発熱患者の診察を行っている約2400の病院の約半数で、公表された発熱外来で「初診も可」が近くにあればいいのですが、発熱外来まで行けない方は、これまでかかった病院に電話してみて下さい。コロナの相談電話である県民サポートセンター（☎0570-783-770 年中無休24時間）や受診相談センターは、お住まいの近くの公表された『発熱外来』のみを紹介するものです。受診する際は、健康保険証を必ずご持参下さい。医師の診断に基づきコロナのPCR検査等を、その発熱外来で行なっているかどうか、県は公表していないませんが、有無を明示している発熱外来（医療機関）自身のHPもあります。



『埼玉県 診療機関検索システム』HP

コロナ入院病床 207床追加

埼玉県内の『コロナ入院病床』数は現在 **最大1408床が入院可能見込み**となり、県内全体で、10月8日時点と比べ207床増え、このうち**176病床はプレハブ仮設で現在、新規整備中**で、順次受け入れが開始されます（病院数は1増）。

狭山市などの県西部地区では、**2病院で20床増えました**（病院数は変わらず）。県内を10地区（医療圏）に分けた病床数は公表されておらず、県内を東西南北と秩父の5地区に分けた時、ふじみ野市・富士見市などの7市町村が、南部地区にカウントされており、南部は29床増えている、私が関係者から聞いているところでは、西部地区だけでなく、狭山市の近くに病床が増えたのではないかと思います。

12月3日現在の県内のコロナ重症者は28人・入院患者は613人です。コロナの入院ベッ

ト数を『確保した』とする数と、実際に使える『実運用』に差がある県がありますが、埼玉県の

場合は、県庁HPに書かれている重症病床 現在105床、入院1211床が『実運用数』です。

冬は心臓・呼吸器・脳の入院患者が増えるので、コロナ以外の患者のベットも確保して両立を図らなければならず（2月がコロナ以外の入院ピーク）、コロナの為だけに大きく余裕を持ったベットの空きの確保は残念ながら出来ません（病院の経営が悪化し、看護師の収入に影響も）。

コロナ自宅療養者に 県が食事セットを無料で配布中

コロナ感染で、入院の必要が無い『無症状』『軽症』者に、県は原則、ホテルでの療養を促していますが、育児・介護などの事情がある場合、自宅療養を認めています。これまで自宅療養者は家族に食事を届けてもらったり、民間の食事配送サービスを利用するしか方法がありませんでした。そこで埼玉県は「自宅療養者が安心して療養できる一助になれば」と、米飯やパスタ・レトルト食品などの食事セットを無料で配食するサービスを11月18日から、全国で3番目に開始しました。感染予防の為、対面せずに配送事業者が専用車両で玄関前に置き、配達前と後に療養者宅に連絡します。食事セットは3～5日分で、主食や副菜の他、食欲が無い時の為、ゼリーや栄養補助スナックも入っています。自宅療養者には毎日、保健所が連絡しており、血液中の酸素濃度測定器（肺機能の状態を把握出来るパルスオキシメーター）も配布していますが、食事セットには、療養上の注意点や、オンライン健康相談サービスなどの案内パンフレット、望ましい食品の摂取などをアドバイスした献立表も同時に届けています。療養期間が長くなった場合、保健所に連絡すると、追加の配食を受けられます。県は「弁当では衛生管理上の懸念があるので、食事セットの配食にした」との事。

3日現在、県内の自宅療養者は417人 ホテル療養者191人（ホテル1255室を確保）となっています。

高齢者施設のクラスター対策を強化

県内の高齢者施設でのクラスター（集団感染）は、9月までは少なかったのですが、10月以降、5人以上の感染が確認された高齢者施設は、14施設と急増。10・11月のコロナでの県内死者数36人のうち、20人は集団感染のあった高齢者施設利用者でした。そこで、11月27日から県庁職員が市町村職員にも協力頂いて県内1066ある高齢者施設を巡回しており、施設入所者の検査・受診・感染対策について24時間の緊急相談窓口も設置されました。

『濃厚接触者』かどうかを保健所が判断する大きな基準は、『マスクを外して15分以上誰かと話していたか』なので、医療従事者の大変な状況が続いている事實を念頭に、外食の際、飲食する時以外は、マスクの着用をお願い出来れば幸いです。

県内でも、大宮・川口・越谷でお酒を出す飲食店等に、夜10時までの営業時間短縮要請を4日から行っているので、これ以上、経済に影響を及ぼさない為に、無症状で高齢者に結果として感染させないように、皆様のご協力をお願い申し上げます。

また、皆様ご承知の通り、コロナに感染した人が悪い訳ではありません。

経済的に立ち行かない方も増えているので、困窮者対策にも取り組んでおります。

《寒くなりました。ストレスも感じていらっしゃると思います。お体大事になさって下さい》

フードバンク

お米・レトルトなど日持ちする食品を、ひろし事務所で募集中！

コロナ対策や、日々の行動・成果を H P ・  で公開中！

中川ひろし

検索



中川ひろしホームページ

<http://hiroshinakagawa.jp/>

ご意見・ご相談などは↓こちらへ

県議会議員 中川ひろし

電話 090-3310-9234 FAX. 04-2936-8834

kids-dream@docomo.ne.jp hnkgw@nifty.com

ひろし事務所

〒350-1308

狭山市中央4-25-4 (マルエツの通り)

ひろし事務所は毎日11時～4時までオープン！(それ以外の時間でも)



ひろしアドレス